



令和5年度第3回結城地域アグリ講座 (県西広域講座)が開催されました！

8月29日(火)、当普及センター会議室で令和5年度第3回結城地域アグリ講座(県西広域講座)を開催しました。当日は、学園生20名が参加しました。今回は、2つの内容について講義を行い、理解を深めました。

第1部「病害虫防除のポイント」では、当普及センターの職員が、病害虫の分類と各分類における防除方法について、現物サンプルを用いて特に水稻やネギの病害虫、発生予察調査の対象害虫を詳しく説明しました。

第2部「農薬安全使用について」では、緑の安全推進協会の講師から、農薬使用者の責任や農薬事故発生時の対応方法、適正使用のための基礎知識の説明がありました。

受講生からは、「農薬管理や記帳の重要性を知る良い機会となった」「今回知った防除方法を自身の経営に活かしたい」等の感想があり、有意義な講座となりました。



水稻種子圃場審査が行われました！

令和5年産水稻種子について、結城市のほ場審査を7/26~8/10(一次)、8/21~9/13(二次)にかけて行いました。審査する面積は80ha超、生産量は約290tと結城地区の種子生産は県内でも有数の規模となっています。

ほ場審査は、県内の水稻を作付けされる生産者の皆さんに優良な種子を届けるために行っています。優良な種子として求められるものは、①高い純度(均一性)、②高い発芽率、③充実した粒、④健全な種子(種子伝染性病害がないこと)であることです。

この中で①及び③、④について合格・不合格の審査をほ場審査で行います。

ほ場審査に合格後、②の発芽率を調査し、高い発芽率と下見審査(外観)を行い、合格した種子が晴れて県内各地の生産者に届きます。

今後も引き続き、安定した優良種子産地を維持できるよう、支援してまいります。



J-クレジット制度～脱炭素社会を目指して～

J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や森林経営などの取組によるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット※」として国が認証する制度です。

この制度に、「水稻栽培における中干し期間の延長」が追加されました。具体的には、中干し期間を、その水田の直近2カ年以上の実施日数の平均より7日以上延長して、その旨を証明する生産管理記録等により第三者機関の審査を受け、制度事務局に申請するものです。申請するためには、生産者自身の中干しの実施日数や収穫後の稲わら処理方法、堆肥の施用量の記録が必要になります。

今後、当制度を活用する場合に向け、5年産からの記録を習慣化しましょう。

※クレジットは、J-クレジット認証委員会で計画登録、実践、承認を受け、プロバイダーや制度事務局等を通して相対取引や入札取引で売却できます。



ホームページは
こちらの
QRコードから

農業機械作業の事故を防ぎましょう！

近年、農業機械での作業中に不幸にも亡くなってしまう方が多くなっています。農業機械作業の事故防止や被害軽減のための対策を徹底しましょう。

【事故防止対策】

- ほ場周辺の危険箇所の確認・危険回避行動の実践
(危険箇所での減速、危険箇所の迂回ルートの設定など)
- 危険箇所の改善 (道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など)

【被害軽減対策】

- シートベルトとヘルメットの着用
- 安全キャブ・フレーム付きのトラクターの利用



農林水産省HP
農作業安全対策

令和6年度茨城県立農業大学校入学生を募集しています

➤ 募集人員等

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

区分	募集人数	受験資格	修業年限	専攻コース
学 科	農学科	40名	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名		-
	園芸学科	30名		施設野菜・花き
研究科	10名	農業大学校卒又は短大等卒業以上若しくは卒業見込みの者		作物・園芸・畜産

➤ 願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)	令和5年10月2日(月)～10月20日(金)	令和5年10月31日(火)	小論文 口述試験(個別面接) 調査書等
一般入試 (各学科)	前期	令和5年11月13日(月)～12月8日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等
	後期	令和6年1月29日(月)～2月20日(火)	
研究科 一般入試	令和5年11月13日(月)～12月8日(金)	令和5年12月15日(金)	

➤ 問い合わせ先

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL 029-292-0010